

寄付・寄贈いただきました

11月3日に国際医療福祉大学（栃木県）から、11月11日に駒澤大学高等学校（東京都）から、11月27日にあいおいニッセイ同和損害保険（株）仙台支店から、寄付金をいただきました。

また、（一社）宮城県消防設備協会からは、住宅用火災警報器を200セット寄贈されました。市内の高齢者世帯を中心に配布する予定ですので、詳しくは、25ページをご覧ください。皆さんのご厚意に感謝いたします。



▲駒澤大学高等学校チアリーディング部の皆さん



▲国際医療福祉大学の絹木憲司准教授と学生たち



▲（一社）宮城県消防設備協会の櫻井勝雄会長



▲あいおいニッセイ同和損害保険（株）仙台支店の廣田範一支店長

日米の友好深める

～日米友好下士官交流～

12月2日、千年希望の丘相野釜公園内で、日米下士官による共同ボランティア活動が行われ、約50人の関係者が参加しました。

震災当初に「トモダチ作戦」が実施された仙台国際空港の近くということもあり、自衛隊と米軍の下士官による植樹に加え、千年希望の丘を絵灯籠で照らす追悼ライトアップが行われました。両下士官と集まった市民は、幻想的な風景に目を奪われていました。



▲植樹活動をする両下士官



▲灯籠には被災した小学生がイラストを描きました

第20回全国小学生クロスカントリリー

研修大会出場

11月14日、「第20回全国小学生クロスカントリリー研修大会」に出場する、岩沼西サッカースポーツ少年団が市長を表敬訪問しました。

9月30日に角田市で行われた県代表選考会では、陸上チームが多く参加するなか、優勝し、県代表の座を勝ち取りました。

同少年団の陸上を指導している高橋コーチは「サッカー競技を行っている選手でも、こうして陸上で記録を残すことができた。この結果を機に、両競技の発展につなげていきたい」と話しました。



▲岩沼西サッカースポーツ少年団の子どもたちと佐藤団長（左から2番目）、高橋コーチ（右から2番目）

とれたての新米が小学校の子どもたちへ

11月15日、農家の有志団体・北長谷米倶楽部から岩沼西小学校へひとめぼれ9袋270kgが寄贈されました。北長谷地区の農家が集まり、新米のおいしさを子どもたちに味わってもらいたいと、10年以上にわたって毎年続けてきました。この日は、給食委員の5、6年生が児童を代表し、大きな米袋を受け取りました。児童数の多い西小学校では、お米270kgは全校生徒の3回分の給食になるということで、地域で作られた新米を大切に食べようと、12月の給食週間で提供されました。

▼お米の重さに驚きながらも、笑顔で受け取る子どもたち



▲新米を手渡す宍戸さん（右）と高橋さん（左）

# 栄えある受章(賞)

# おめでとうございます

(年齢は受章(賞)日現在)

## 平成29年秋の叙勲

11月3日付で平成29年秋の叙勲が発表され、当市から多大な功績があった方が受章されましたのでご紹介いたします。

### 瑞宝 小綬章



元宮城県公営企業管理者  
佐藤 幸男さん (70)

(相の原第二)

昭和47年に宮城県職員となり長く県政に尽力された後は、宮城県公営企業管理者や阿武隈急行(株)社長を歴任されました。

地域の方の安全・安心・豊かな生活の実現を目指して技術職員を志し、昭和61年に発生した台風被害によるインフラ整備や東日本大震災の震災復興会議委員として活動したことが心に残っ

ているそうです。

「行政は震災復興が終わってからの正念場。何が市民にとって必要なのかしっかりと見極めなければならぬ」と長い行政経験に基づく災害への取り組みについて語られると共に、「これまでも続けてきた年に一度の孫たちとの旅行を楽しんでいきたい」とも話されました。

### 旭日 双光章



岩沼市医師会会長  
森 学武さん (73)

(中央一丁目)

岩沼市医師会の理事を歴任し、平成22年2月から5期(在任8年目)にわたって会長を務めたなどの功績により受章されました。現在も森整形外科クリニックの理事長として、市の地域医療に貢献されています。

医師会の活動について、昭和62年から仙台空港において、航空機内での火災や緊急着陸を想定した救急救難訓練

への参加を始めたことが、特に印象的だったといえます。

「岩沼市が文化の薫るまちになってほしい」と、これからも日本文学への知識を深め、日本文化の真の理解に努めていきたいそうです。最後に「6人の孫の成長が楽しみ」とも笑顔で話されました。

## 厚生労働大臣表彰「現代の名工」

日本料理調理人

佐藤 信さん (73) (竹の里)

卓越した技能を持ち、技能の世界で活躍する職人や技能の世界を志す若者に目標を示すその道の第一人者として、11月6日に表彰されました。

現在、蔵王の料理店で精進茶懐石を作っている佐藤さんは「料理には華美を求めず、風合いを心して作っている。体の動く限り料理を作り続けたい」と話されました。



▲調理の様子



▶季節の食材を使った煮物椀

## 宮城県農業会議会長表彰

11月20日に受賞されましたので、ご紹介いたします。  
大村 敏明さん (玉崎下)